

令和4年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成「事業評価」(事業概要)

団体名	特定非営利活動法人 福祉のまちづくり実践機構	総合評価 A	評価基準(総合評価)
事業名	中間支援組織と連携した大阪の福祉化プロジェクト～SDGs先進都市大阪モデルづくり		S (非常に高く評価できるもの)
実施期間	2022年4月1日～2023年3月31日		A (高く評価できるもの)
助成(実績)額	4,796,982円		B (一定の水準にあるが一部課題のあるもの) C (一定の水準にあるがかなり課題のあるもの) D (全般的に多く課題のあるもの)

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果																																				
<p>●22年度は「認証制度の発足」に向け、「大阪版ソーシャル事業所認証研究会(以下研究会)」を2回開催し、助成終了後における認証事務局を担う「一般社団法人ソーシャル事業者認証機構おおさか」の設立と、引き続きWEBによる情報発信に取り組みました。</p> <p>1. 大阪版ソーシャル事業所認証研究会から、一般社団法人ソーシャル事業者認証機構おおさかへ</p> <p>○2021年度の研究会では「公平性や信頼性を担保する認証システム」の必要性が指摘されました。</p> <p>・「認証システム」では、公平性や信頼性を担保するために、大学や中間支援組織等の専門機関が参画する団体を新たに設立し認証機関とすること。</p> <p>・認証評価については、実務者・学識経験者・認定中間支援組織等で構成される第三者委員会によること。</p> <p>・企業等への申請サポートを担う社会的金融機関の拡充に努めること</p> <p>※2021年度 報告書より</p> <p>○2022年度は金融機関等への働きかけをおこないましたが、公平性・信頼性が担保できる「認証機構」の構成員を明らかにしてから判断したいとの意見がありました。そのため、拙速に研究会メンバーのみで機構を設立、認証スタートを目指すのではなく、「認証機構の設立」を最重要テーマとしました。</p> <p>○研究会を通じて、「認証機構」に参画いただけるメンバーの開拓を図ろうと、研究会委員のみならず、オブザーバーやゲストとして学識経験者や社会的金融関係者などに積極的にネットワークを広げました。</p> <p>○第1回の研究会では「大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ(S S I)の取り組み」、第2回の研究会では、「ソーシャル企業認証制度の運用」を取り上げました。</p> <p>○第1回研究会概要【委員：9人 オブザーバー・ゲスト：5人】</p> <p>2022年10月14日 13:00～15:00@大阪公立大学 文化交流センター</p> <p>①2021年度事業のふりかえり【事務局】</p> <p>②大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ(S S I)の取り組み 企業の社会性を評価する「企業のエシカル通信簿」について</p> <p>【堂目 卓生 氏：大阪大学経済学研究科教授/大阪 S S I 長】</p> <p>【伊藤 武志 氏：大阪大学 S S I 教授】</p> <p>③一般社団法人の設立にむけて【事務局】</p> <p>④意見交換</p>	<p>●2022年度は、認証制度のスタートアップとして、下記の3点に取り組むこととしていましたが、①と②の実施にとどまり③は実施を見送りました。</p> <p>①金融機関等と連携したアドバイザー育成と認証機構の設立</p> <p>②認証希望者(プレイヤー)増につながる広報の充実</p> <p>③企業認証のスタート</p> <p>1. 金融機関等と連携したアドバイザー育成と認証機構の設立</p> <p>○金融機関が参画しやすい環境整備を優先し、大阪大学や大阪公立大学等の学識経験者等が参画する公平性・信頼性の高い認証機構の設立につなげることができ、一定の目標は達成できました。</p> <p>○設立した認証機関は「一般社団法人 ソーシャル事業者認証機構おおさか」</p> <p>○アドバイザー育成等については、第2回研究会で京都における「S認証の実務」を紹介する機会をもうけ、研究会の委員のみならず、オブザーバーや認証機構の設立メンバーと共有することができました。</p> <p>2. 認証希望者(プレイヤー)増につながる広報の充実</p> <p>○当初10団体を予定していたが、13団体のインタビュー等を紹介することができました。また、Facebookのフォロワーも147人と一定の成果がありました。</p> <p>○掲載されたインタビュー 一覧</p> <table border="1"> <tr> <td>経済学から社会問題解決のいとぐちを見つけない</td> <td>4/13</td> </tr> <tr> <td>大阪市立大学名誉教授 福原宏幸先生</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域における社会連帯経済部門の育成が行政の福祉化の鍵</td> <td>4/25</td> </tr> <tr> <td>大阪市立大学名誉教授 福原宏幸先生</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リサイクル事業とソーシャルファームは相性がいい</td> <td>5/13</td> </tr> <tr> <td>第8回ソーシャルファームジャパンサミットin ふくしま</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ユニット就労で農業就労促進を目指す</td> <td>6/10, 6/22</td> </tr> <tr> <td>泉州アグリ 加藤秀樹さんインタビュー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろう者が活躍できる社会を目指して</td> <td>8/5, 17, 24</td> </tr> <tr> <td>サイレントボイス 尾中友哉さんインタビュー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>誰もが暮らせる地域づくりを</td> <td>9/30, 10/5, 11</td> </tr> <tr> <td>南大阪自立支援センター 石野英司さんインタビュー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>多世代で交流できる拠点でひとり親家庭の子育てを応援</td> <td>10/25, 11/10</td> </tr> <tr> <td>団欒長屋 洲上桃子さん</td> <td></td> </tr> <tr> <td>清掃訓練を通じて重度知的障がい者の就職支援に取り組む</td> <td>12/20</td> </tr> <tr> <td>エル・チャレンジ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>すべての人の人権が尊重される豊かな社会を目指す</td> <td>1/9</td> </tr> <tr> <td>一般財団法人大阪府人権協会</td> <td></td> </tr> </table>	経済学から社会問題解決のいとぐちを見つけない	4/13	大阪市立大学名誉教授 福原宏幸先生		地域における社会連帯経済部門の育成が行政の福祉化の鍵	4/25	大阪市立大学名誉教授 福原宏幸先生		リサイクル事業とソーシャルファームは相性がいい	5/13	第8回ソーシャルファームジャパンサミットin ふくしま		ユニット就労で農業就労促進を目指す	6/10, 6/22	泉州アグリ 加藤秀樹さんインタビュー		ろう者が活躍できる社会を目指して	8/5, 17, 24	サイレントボイス 尾中友哉さんインタビュー		誰もが暮らせる地域づくりを	9/30, 10/5, 11	南大阪自立支援センター 石野英司さんインタビュー		多世代で交流できる拠点でひとり親家庭の子育てを応援	10/25, 11/10	団欒長屋 洲上桃子さん		清掃訓練を通じて重度知的障がい者の就職支援に取り組む	12/20	エル・チャレンジ		すべての人の人権が尊重される豊かな社会を目指す	1/9	一般財団法人大阪府人権協会		<p>●認証機関として設立した一般社団法人は、大阪府内の国公立大学2校「大阪大学」「大阪公立大学」「中間支援組織」が参画し、信頼性・公平性の担保や「ラウンドテーブル」の役割を担うことができる。</p> <p>●福祉推進助成終了後も、一般社団法人ソーシャル事業者認証機構おおさかが、本事業の成果を引継ぎ、事業を継続することができました。</p> <p>1. 2023年度 一般社団法人 事業計画案</p> <p>①視察/学習会の開催：ネットワークをひろげる</p> <p>○年4回程度の開催(6月以降2～3か月ごとに：9月、12月、2月)</p> <p>※第1回はキックオフ企画【6月】として大阪大学+大阪公立大学からソーシャル関連の取組</p> <p>②ソーシャル事業者認証：まずは始める。初年度10社程度</p> <p>第1回目：6月 募集開始</p> <p>9月 募集締切</p> <p>10月 審査会(第三者委員会)</p> <p>12月 認証発表</p> <p>第2回目：1月 募集開始</p> <p>3月 募集締切</p> <p>4月 審査会(第三者委員会)</p> <p>6月 認証発表</p> <p>③アドバンス認証研究会：：おおさからしさの追求</p> <p>・仕組みづくりのための研究会開催 年4回程度</p> <p>+i : inclusion 社会包摂</p> <p>+h : human rights 人権</p> <p>+p : pioneer 先駆性</p> <p>+e : environment 環境の持続可能性</p> <p>④申請しやすい環境整備：</p> <p>・WEB 簡易なものを6月の募集に合わせた立ち上げ</p> <p>・申請サポート団体の発掘</p> <p>※第2回 研究会で「認証の実施は慎重に」「申請サポート団体の発掘に注力」という意見をいただき、現在は計画を変更し、「申請サポート団体発掘」に努めている。</p>
経済学から社会問題解決のいとぐちを見つけない	4/13																																					
大阪市立大学名誉教授 福原宏幸先生																																						
地域における社会連帯経済部門の育成が行政の福祉化の鍵	4/25																																					
大阪市立大学名誉教授 福原宏幸先生																																						
リサイクル事業とソーシャルファームは相性がいい	5/13																																					
第8回ソーシャルファームジャパンサミットin ふくしま																																						
ユニット就労で農業就労促進を目指す	6/10, 6/22																																					
泉州アグリ 加藤秀樹さんインタビュー																																						
ろう者が活躍できる社会を目指して	8/5, 17, 24																																					
サイレントボイス 尾中友哉さんインタビュー																																						
誰もが暮らせる地域づくりを	9/30, 10/5, 11																																					
南大阪自立支援センター 石野英司さんインタビュー																																						
多世代で交流できる拠点でひとり親家庭の子育てを応援	10/25, 11/10																																					
団欒長屋 洲上桃子さん																																						
清掃訓練を通じて重度知的障がい者の就職支援に取り組む	12/20																																					
エル・チャレンジ																																						
すべての人の人権が尊重される豊かな社会を目指す	1/9																																					
一般財団法人大阪府人権協会																																						

- 第2回研究会概要【委員：9人 オブザーバー・ゲスト：9人】
2023年3月22日 18:00~20:00@大阪市立大学 文化交流センター
- ①ソーシャル企業認証制度の運用について
【石井 規雄 氏：ソーシャル企業認証機構 事務局】 オンライン
【並木 州太郎 氏：龍谷大学ユースソーシャルビジネスリサーチセンター 研究員】
- ②一般社団法人ソーシャル事業者認証機構おおさかの設立について【事務局】
- ③意見交換
- その結果、研究会に参画いただいた、大阪大学および大阪公立大学の学識経験者および中間支援組織等を社員とする一般社団法人ソーシャル事業者認証機構おおさかを2023年3月23日に設立することができました。
- 一般社団法人ソーシャル事業者認証機構おおさかの概要

ソーシャル事業者認証機構おおさかの概略①

【名称】一般社団法人ソーシャル事業者認証機構おおさか

【目的】大阪府を中心として、事業活動が単に売上や利益率と いった経済的価値にとどまらず社会的価値を創造する営みであることに鑑み、経営方針、事業内容、人権・社会包摂・環境への配慮、地域内経済循環への貢献、新しい価値観の創出などによって事業者を評価する仕組みを構築し、以て、ソーシャル事業者(地域性・社会性に配慮した事業経営を行う企業および事業所)を育成・認定し、地域社会と地域経済の持続可能性を高めること。

【役員】	役職	氏名	所属
	代表理事	●●●●	大阪公立大学
	副代表理事	●●●●	大阪大学大学院経済学研究科・社会ソリューションイニシアティブ
	理事	●●●●	大阪知的障害者雇用促進建物サービス 事業協同組合
	理事	●●●●	特定非営利活動法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク
	理事	●●●●	社会福祉法人 大阪ボランティア協会
	理事	●●●●	一般財団法人 大阪府人権協会
	理事	●●●●	大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ
	理事	●●●●	大阪公立大学大学院都市経営研究科
	理事	●●●●	大阪公立大学大学院都市経営研究科 都市経営専攻
	監事	●●●●	有限責任事業組合 大阪職業教育協働機構 A`ワーク創造館

ソーシャル事業者認証機構おおさかの概略②

【社員】理事に加え事務局2名

役職	氏名	所属
事務局	●●●●	特定非営利活動法人福祉のまちづくり実践機構
事務局	●●●●	有限会社 QR-ASSIST

【設立】2023(令和5)年3月

【その他】

項目	所属
所在地	阿倍野区昭和町(12,000円/月)
社員会費	会費1万円/年
理事任期	任期は2年
認証費用	1万円/回(認証は3年有効)
申請支援体制	金融機関・経済団体等、幅広く連携
第三者委員会構成	理事2名+外部3名

2. 情報発信の充実

- 2022年1月にリニューアルしたウェブサイト(<https://wep-npo.com/>)やnoteを通じて、福祉のまちづくり実践機構の活動の周知をはかりました。
- 2022年4月から発信を始め、中間支援組織・学識経験者・実践者への取材を行い、毎月1~5記事のペースでレポートを情報発信しました。

※写真の挿入も可能です。(1~2枚程度)

就労支援や職業教育を通じて地域の中小企業を活性化 大阪地域職業訓練センター(A`ワーク創造館)	1/17
精神障がい・障がい者が長く働き続けられるようにサポートする NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク(JSN)	2/24
ボランティア支援を通じて市民活動を活性化する 社会福祉法人大阪ボランティア協会	2/26
仕事づくりでホームレス状態の人たちの自立を後押し 釜ヶ崎支援機構 松本裕文さん	3/15, 17
金融を通じてソーシャルビジネスを支援する ヒューファイナンスおおさか(大阪府地域支援人権金融公社)	3/21
誰もが安心して差別のない地域で暮らせるまちづくりを目指す」 NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝	3/27
ビルメンテナンス業界の障がい者雇用のパイオニア 株式会社社交工業	3/31

ビルメンテナンス業界の障がい者雇用のパイオニア 株式会社社交工業...

誰もが安心して差別のない地域で暮らせるまちづくりを目指す ...

金融を通じてソーシャルビジネスを支援する ヒューファイナンス...

仕事づくりでホームレス状態の人たちの自立を後押し(後編) 釜ヶ...

仕事づくりでホームレス状態の人たちの自立を後押し(前編) 釜ヶ...

社会福祉法人大阪ボランティア協会 ボランティア支援を通じて...

精神障がい・発達障がい者が長く働き続けられるようにサポートす...

就労支援や職業教育を通じて地域の中小企業を活性化 大阪地域職...

すべての人の人権が尊重される豊かな社会を目指す 一般財団法人...

清掃訓練を通じて重度知的障がい者の就労支援に取り組む エル...

多世代で交流できる拠点でひとり親家庭の子育てを応援 団楽長屋...

多世代で交流できる拠点でひとり親家庭の子育てを応援 団楽長屋...

2. 一般社団法人の活動による波及効果

- 京都の「S認証」の主なターゲットは中小企業でしたが、本事業を通じて大阪では中小企業のみならず、公益活動等を行う「NPO」「一般社団」等も担い手として組み入れたものとするなど、地域や社会への波及が期待できます。
- 研究会や一般社団法人の設立をきっかけに、「行政の福祉化」に協力する大阪ビルメンテナンス協会が開催予定の、社会貢献セミナー(2023年5月12日)で、大阪大学SSIの報告が盛り込まれるなど、新たな連携・協働先が本事業を通じて生まれるなど、新たな連携・協働先の確保につながりました。

第13回 ビルメン社会貢献セミナー

2025年大阪万博を契機に
これからのビルメンテナンス産業の活性化を考える

日時 2023年5月12日(金) 13:00~17:00(受付12:30~)

場所 大阪大学 中之島センター5階 「いのち共感ひろば」

講師 菅田 卓生 氏

申込 要領をダウンロードし、FAXまたはEメールでお申し込みください。

申込締切 2023年4月30日(日)

定員 先着50名程度 / 参加費無料

- 2023年7月18日にいのち会議 市民部門 アクションパネル4 経済(SDGs 8,12)キックオフ 「共感に基づく共助の経済を創ろう！」で活動報告をしました。

いのち会議 市民部門 / 関西SDGsプラットフォーム大学分科会 / 大阪大学SSI共同主催

社会ソリューションイニシアティブ (SSI) SOCIAL SOLUTION INITIATIVE

第13回 SSI車座の会 車座広大阪



いのち会議 市民部門 アクションパネル4 経済(SDGs 8,12)キックオフ 「共感に基づく共助の経済を創ろう！」(大阪大学中之島センター 見学会 も行います)

2023.7.18 Tue. 15:30-17:30

場所: 大阪大学中之島センター5階「いのち共感ひろば」およびオンライン

趣旨: 2025年の大阪・関西万博の「いのち輝く未来社会のデザイン」のテーマやSDGsの誰も取り残さない誓いの実現や達成に向けての様々な動きの中で、経済をよりよいものにするという理解は、もともと重要なテーマの一つです。企業などがなりわいを通じて、社会に必要なモノを創り、それによってお金を創り、そのお金を投資や税金、寄付などのために使っていくことは貨幣が生まれた共助の仕組みです。必ずしもこのように認識している方が多いわけではありませんが、この万博の機会に、企業と企業を取り巻く主体(スタートアップ)のあり方をアップデートできるのではないかと。3月24日には、大阪・関西万博におけるいのち宣言に向けての共助宣言、事業推進協議会も設置されたことから、この大阪大学SSI車座の会発の共助宣言の動きも、いのち会議のアクションパネルの取組組み構として進めていきたいと思います。また、SDGsについての大学の連携によって、教育・研究・社会貢献を向上させるために作られた関西SDGsプラットフォーム大学分科会におけるSDGs ESG評価・認証のテーマの会合として実施します。4月1日にリニューアルオープンした大阪大学中之島センターは、社会に開かれたアゴラ・公共空間である。特に5階の「いのち共感ひろば」は、開いた対話の場として、知る・感じる・創るをコンセプトとしてつくられた。万博・SDGsのために、また子供も含めた市民のために作られた場となります。今回はその見学会もかねて行いたいと思います。

プログラム: (敬称略)
挨拶 菅田 卓生 大阪大学SSI長 「いのち会議の開始について」
伊藤 志志 大阪大学SSI教授 「共感に基づく共助の経済を創ろう-企業のESG向上と100%購買拡大」
田代 敬之 住友商事 常務執行役員/一般社団法人WICIの代表理事 「切りがちな社会のデザイン」
眞々 那 貴之 SSI招聘研究員(元楽天株式会社) 「リテラシー(リテラシー)」 「商品のESGについて」 (仮)
平瀬 謙司 株式会社ナブルラボ 代表取締役社長 「資本主義をシフトさせる！」 (仮)
古谷 由紀子 一般財団法人CSOネットワーク 代表理事 「持続可能な調達と政府、企業、消費者の役割」
田岡 秀明 一般社団法人ソーシャル事業者認証機構おおさか 「大阪版ソーシャル事業者認証に向けて」
下村 資津子 認定NPO法人環境市民 副代表理事 「SSRCによる『企業のおかど通信簿』について」 (仮)

お申し込み: フォームへのご入力をお願いします。 <https://forms.gle/jTn91rXQxWZkqzA6> **お申込みQRコード**

大阪大学中之島センター アクセス <https://www.onc.osaka-u.ac.jp/access/> **アクセスQRコード**

SSI車座の会の活動について
SSI車座の会は、企業やNPOの方々が、社会的責任を具した上で悩みや課題を共有し、組織や業界を超えた課題の解決や社会事業の創造について検討し、行動に移すための場です。SS車座の会、経済の発展を促し、そのためのアクションを検討してきました。

主催: いのち会議 市民部門
関西SDGsプラットフォーム大学分科会(テーマ「SDGs ESG評価・認証」)
大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (SSI) 車座の会 お問い合わせメールアドレス: ssi@mlfoffice.usc.ac.jp